

2008 年度活動報告

2008. 4. 18

とりつおせっ会

I 中高一貫校（既3校・新2校）への「つくる会」教科書の採択を阻止するための取り組み

東京都教育委員会は、2005年7月に都立桜修館中等教育学校など3校の歴史教科書に扶桑社版教科書を採択した。2007年7月には、小石川、両国、桜修館の公民教科書および武蔵、北多摩の歴史教科書に「新しい歴史教科書をつくる会」教科書の採択を決定した。彼らは、「教育委員6名による無記名投票で全員一致した」からという理由で、何の意見表明もなしに即座に採択したのであった。

○ 東京都教育委員会 教育委員長 木村 孟 殿 2008年7月3日 とりつおせっ会 代表 石山久男
「都立桜修館中等教育学校の歴史・公民教科書採択の撤回に関する請願」を提出。（別紙参照）

● とりつおせっ会 代表 石山久男殿 平成二〇年八月十一日 東京都教育委員会
請願についての(回答)

平成二〇年七月三日付で提出された請願について、下記のとおり回答いたします。

記

・・・

平成一七年度及び一九年度に東京都教育委員会が行いました都立桜修館中等教育学校等の社会（歴史的分野及び公民的分野）の教科書選択は、これらの関係法令に基づき、適正に行われたものです。したがって、採択の撤回及びやり直しを行う考えはありません。」

○ 7月1日付 渡海紀三朗文部科学大臣宛「教科書検定制度に関する要望書」を送付。（別紙参照）

「つくる会」教科書の採択は、学校教育を一举に戦争教育へと転換させていくことを狙った重大な動きであり、それは、教育基本法改悪、憲法改悪と軌を一にし、かつ突出した所業である。教科書の採択に当たって、東京都教育委員の選任については石原知事の息のかかった人物が任命されている。選定審議会に当該中高一貫校の教員が含まれていない等々の問題がある。

採択制度・検定制度の抜本的な改善をはかるための取り組みが求められている。

○ 2009年2月7日四校連絡会開催。「都立中高一貫校有志の連絡会」を設立

2009年には桜修館を含め10校（桜修館、白鷗、小石川、両国、北多摩、武蔵、富士、大泉、南多摩、三鷹）で2010年度から使用する「歴史」、「公民」の教科書の採択が7月にある予定。

北多摩、武蔵・・・2008年度開校。

富士、大泉、南多摩、三鷹・・・2010年度開校予定

「現場が自校の特色に基づき教科書研究をして決定する」よう「採択の仕組み自体を変えよ」との運動を行ってゆく。

- 2009年3月5日 都立中等教育学校等の教科書採択制度の見直しを求める請願。(別紙参照)
「各校の特色をより発揮するため各校の現場教職員の意向を尊重する制度に改めること」。

II 教育・教科書をめぐる課題についての学習会の開催

4校連絡会所属の会等が催す学習会に参加することを通じて問題意識を高め、活動の昂揚に寄与することに努めた。

8月12日 学習会、「現在、中学校現場で何が起きているか、それが意味すること」

講師：現役中学校教員（理科）

9月27日「伝えたいこと - 憲法などについて」

講師：清水 誠 氏（都立大学法学部名誉教授）

11月29日 四校（小石川・都大附・白鷗・両国）有志の会主催・公開学習会「教科書検定制度・採択システムの現状と問題点」

講師：依義文 氏（子どもと教科書全国ネット21 事務局長）。

【その他諸学習会・集会の参考例】

8月29日 「石原・中村都教委の暴走を止めよう！〈日の丸・君が代〉強制・処分を許すな！

〈10.23通達〉を撤回させるぞ！都教委包囲・抗議行動」実行委員会主催（東京・都庁）

11月12日 「大江・岩波沖縄戦裁判 大阪高裁勝利判決 報告集会」沖縄戦首都圏の会主催

2月8日 「君が代不起立への分限解雇を許すな。10.23通達撤回。卒・入学式を闘おう」決起集会。

都教委包囲・首都圏ネット主催（東京・神田駿河台全電通ホール）

3月16日 「つくる会」教科書採択を阻止する東京ネットワーク主催・公開講演会「戦争をする国に変える教科書づくりの深層」講師：依義文氏。

III 講演および会報『まなこ』の発行

- 講演『公立中高一貫6年制教育の課題と今後の展望』講師：桜修館中等教育学校兼都立大学附属高校長 石坂康倫先生

「新設学校の母体校との関係・継続性からして、うまく行ったら奇跡的」等々のお話。

- 会報『まなこ』第2号 2008/8/15 投稿大歓迎！

以上